

務省第1入札等監視委員会
令和6年度第1回定例会議議事概要

開催日及び場所	令和6年9月18日（水）札幌国税局 2階 第一会議室	
委員	委員長 荒木 健介（藤田・荒木・村本法律事務所・弁護士） 委員 石若 保志（石若保志公認会計士事務所・公認会計士） 委員 佐藤 修二（北海道大学大学院法学研究科・教授）	
審議対象期間	令和6年4月1日（月） ～ 令和6年6月30日（日）	
契約の現状の説明	審議対象期間の契約概要	
抽出案件	4件	（備考）
競争入札（公共工事）	1件	契約件名： 札幌国税局業務センター帯広分室 壁撤去ほか工事 契約相手方： 堀川建設株式会社 契約金額： 7,370,000円 契約締結日： 令和6年4月1日 担当部局： 札幌国税局
随意契約（公共工事）	—	無し
競争入札（物品役務等）	3件	契約件名： 札幌第1合同庁舎警備業務一式 契約相手方： 株式会社ベルックス 契約金額： 123,200,000円 契約締結日： 令和6年4月1日 担当部局： 北海道財務局
		契約件名： 苫小牧コンテナ検査センターほか2庁舎機械警備等委託一式 契約相手方： セコム株式会社 契約金額： 8,217,000円 契約締結日： 令和6年4月1日 担当部局： 函館税関
		契約件名： 札幌第2合同庁舎管理業務 契約相手方： 北海道セキュリティ事業協同組合 契約金額： 103,488,000円 契約締結日： 令和6年4月1日 担当部局： 札幌国税局
随意契約（物品役務等）	—	無し
応札（応募）業者数1者関連	2件	契約件名： 苫小牧コンテナ検査センターほか2庁舎機械警備等委託一式 契約件名： 札幌第2合同庁舎管理業務
委員からの意見・質問、それに対する回答	別紙のとおり	
委員会による意見の具申	無し	

意見・質問	回答
<p>【事案1】</p> <p>契約件名： 札幌第1合同庁舎警備業務一式</p> <p>契約相手方： 株式会社ベルックス (法人番号 2430001014425)</p> <p>契約金額： 123,200,000円</p> <p>契約締結日： 令和6年4月1日</p> <p>担当部局： 北海道財務局</p> <p>昨年度の契約業者はどの業者か。</p> <p>株式会社ベルックスは本件以外の警備業務も契約しているか。</p> <p>競争参加資格がA等級の事業者はどの程度あるのか、なぜ競争参加資格をA等級のみとしたのか。</p> <p>予定価格を非公表としている理由は何か。公表したほうが、他者が落札する可能性が高まるのではないか。</p> <p>過去5年間の入札における株式会社ベルックスの応札及び落札の状況はどうか。</p> <p>過去5年間の平均応札者数 2.4 者は、数としては十分との認識か。</p>	<p>昨年度の契約業者も株式会社ベルックスである。</p> <p>当局で管理する道内5つの合同庁舎は別の業者と契約している。</p> <p>北海道地区におけるA等級の事業者は105者、札幌市内に限っても53者の登録があり、A等級のみでも競争性は十分確保できると判断した。</p> <p>次年度以降の予定価格を類推される恐れがあるため、予定価格を非公表としている。</p> <p>株式会社ベルックスは過去5年間のいずれも入札に参加し、全て落札している。</p> <p>より多くの応札があることが望ましいと考えているが、過去の応札者への聞き取りでは、人員確保や初期投資費用等が支障となり新規参入を躊躇することもあると聞いている。</p>

意見・質問	回答
<p>【事案2】</p> <p>契約件名： 苫小牧コンテナ検査センター ほか2庁舎機械警備等委託一式</p> <p>契約相手方： セコム株式会社 (法人番号 6011001035920)</p> <p>契約金額： 8,217,000円</p> <p>契約締結日： 令和6年4月1日</p> <p>担当部局： 函館税関</p> <p>1者応札となった理由は何か。</p> <p>入札参加資格の等級を拡大しているが、拡大によりどの程度業者数が増えるのか。</p> <p>予定価格の積算方法は。</p> <p>実態として、全国規模の大手企業しか対応できないということか。</p> <p>本契約は従来から一括で契約を行っていたのか。</p> <p>一括で契約する必要性は何か。</p>	<p>今回の業務内容に対応できる業者に限りがあるためと考えている。</p> <p>資格の面だけで言えばかなりの数はあるが、今回の仕様に対応できる業者は限られる。</p> <p>複数の業者から徴取した見積書を元に積算を行っている。</p> <p>各市町村単位であれば対応できると思うが、今回のような一括での調達であれば、大手しか対応できないものと思われる。</p> <p>前回の契約においても一括で契約している。</p> <p>コストの削減が目的であるが、市町村単位で対応できる業者があり、価格面のメリットがある場合は、分割での調達も検討する。</p>

意見・質問	回答
<p>【事案3】</p> <p>契約件名： 札幌国税局業務センター帯広分室 壁撤去ほか工事</p> <p>契約相手方： 堀川建設株式会社 (法人番号 9460101001677)</p> <p>契約金額： 7,370,000 円</p> <p>契約締結日： 令和6年4月1日</p> <p>担当部局： 札幌国税局</p> <p>落札率が低い理由は何か。</p> <p>落札率が低い中で、業務を行うことが可能か否かの確認はどのように行ったか。</p> <p>予定価格については妥当ものと考えてるか。</p>	<p>落札額が予定価格を大きく下回った理由については、落札業者から次のとおり聴取している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの実績・経験により、低価な資材調達経路を確立するとともに、協力会社からコスト面で特段の承諾を得ている。 ・補助要員の人員配置及び各種間接コストの削減について工夫を継続しており、効果的に共通費を圧縮している。 ・年度始めの工事であるため、自社及び取引会社が有する人員を最大限に活用し施工可能である。 ・同種工事を多数施工した経験があり、作業効率を熟知した作業員による効率的な施工が可能である。 <p>低入札価格調査に基づき、全部で14項目にわたり事情を聴取している。具体的には、①入札した理由、②現状の手持工事の状況、③資材等の状況、④労務者に対する具体的な供給先の見通し、⑤過去5年にわたっての公共工事の受注状況等について聴取し、その結果として、業務を行うことが可能であると判断した。</p> <p>本件においては、昨今の人件費及び資材の高騰の影響が多分に想定されたため、最新の物価図書及び市況価格を参考にし、かつ、工事業者から参考見積書を取り寄せ、可能な限り直近の単価を採用したところである。このような形で予定価格を算出していることから、その価格については、妥当なものだと考えている。</p>

意見・質問	回答
<p>【事案4】</p> <p>契約件名： 札幌第2合同庁舎管理業務 契約相手方： 北海道セキュリティ事業協同組合 (法人番号 6430005004393)</p> <p>契約金額： 103,488,000円 契約締結日： 令和6年4月1日 担当部局： 札幌国税局</p> <p>なぜ1者入札となったか。</p> <p>本業務の中には、札幌第2合同庁舎の警備業務も含まれているが、事案1「札幌第1合同庁舎警備業務一式」との大きな違いはあるか。</p> <p>入札参加資格について、事案1「札幌第1合同庁舎警備業務一式」では、A等級のみであるが、本件については、なぜB等級まで含まれているのか。</p> <p>本件の契約者は、「事業協同組合」であり、通常の株式会社等とは、業態が異なると思うが、「事業協同組合」とはどのようなものか。</p> <p>事案1「札幌第1合同庁舎警備業務一式」に比して、長期間、同じ落札業者との契約が続いているようだが、両業務に何か違いがあるか。</p>	<p>本件は、札幌第2合同庁舎におけるエレベーター等の設備の管理を委託する業務であるところ、本件入札に当たり、従来から入札に参加している業者から、「エレベーター設備管理を担当する技術者が退職し、業務を受託することができなくなった」との話があり、結果として当該業者から応札がなかったことから、1者応札となったものである。</p> <p>警備業務については、大きな違いはないが、札幌第2合同庁舎の契約に関しては設備管理の業務も含まれている。</p> <p>本件の契約業者である「北海道セキュリティ事業協同組合」については、従前から良好に契約を履行していたところ、等級がB等級であることから、本件の入札参加資格をA等級のみとすることで、当該業者が参加できなくなる。このため、本案件については、入札参加資格にB等級を含めている。</p> <p>警備業者や設備管理業者等といった業者が組合員となり、「事業協同組合」が受注した業務を、その内容に応じ、各組合員に再委託して契約を履行するという業態である。</p> <p>違いはなく、金額面とどれだけ人を手配できるかという部分で落札者が決まっているものと思料する。</p>

仕様上、警備業務と設備管理業務を一括とする必要性はあるか。

本件の仕様では、12業務を一括としているが、過去には、当該各業務につき、入札や随意契約で各々調達を行っていた。

しかしながら、12業務を一括した仕様とし、すべてを入札の対象とすることで、①透明性、公正性及び競争性の高い調達が期待できること、また、②全12業務をそれぞれ契約するための膨大な事務量を削減することができることから、業務を一括した仕様とし、契約手続を行ってきたところである。

今後については、警備業務と保守管理業務という2業務に分割した仕様とすることで、多数の応札者が見込まれるのであれば、これら業務を分割した仕様とすることも検討していきたい。